

お出かけ農業試験場を上伊那地域で開催！（Vol. 23 令和7年10月）

「お出かけ農業試験場」は試験場職員が現地に赴き、地域の農業者や消費者などが抱えている課題の解決に向けて情報提供や意見交換する場を設ける取組みです。

本年度は10月20日に辰野町において、「日本なしにおける白紋羽病の現状と対策」と題して、「お出かけ農業試験場」を上伊那ナシ産地再構築プロジェクト及び上伊那農業農村支援センターと共に開催しました。

白紋羽病は、土壤中の糸状菌が原因で発症する土壤伝染性の果樹病害であり、生育不良や枯死などの深刻な被害をもたらす重要病害です。近年、上伊那地域では日本なし栽培への機運が再び高まっており、特に省力樹形である樹体ジョイント栽培の新・改植が進みつつある一方で、白紋羽病により苗木が枯死する事例が発生しています。

本講習会では、萬田研究員が白紋羽病の特徴とこれまでに得られている防除技術を紹介した後、ジョイント栽培のなし園において、白紋羽病の発生状況を生産者自ら把握する手法である「枝挿入法」と、白紋羽病防除に有効な「温水点滴処理」の実習を行いました。

地域を担う若手生産者や指導者などの関係者と白紋羽病対策に係る情報を共有するとともに、効果的な防除対策や地域全体での今後の対応などについて闊達な意見交換を行うことができました。



温水点滴処理の効果的な処理方法を解説



枝挿入法と白紋羽病の判別を実演